



21 世紀 C O E 先端地球惑星科学セミナー

講演題目：日本のこれからとリモートセンシングの将来

講演者：飯塚 譲二 教授

所 属：ビクトリア大学（カナダ）

日 時：2007 年 7 月 5 日（木）14:30 - 16:00

場 所：東北アジア研究センター 4 階大会議室

講演者の紹介：

飯塚先生は、カナダ天然資源省カナダリモート・センシング・センター高等研究員としてリモート・センシング画像解析の自動化の研究、カナダ天然資源省太平洋森林センター高等研究員としてリモート・センシングを利用とした森林に対する擾乱自動検出法の研究と地球環境観測を利用したサステイナブル・ディベロプメントのプロジェクト開発などの研究に携わった後、2001年よりビクトリア大学地理学科教授としてリモートセンシング研究および教育を続けておられます。

講演内容の概要：

本講演会では、近未来2030-50年あたりに位置づけられる諸問題について、リモートセンシングの果たすべき役割をリモートセンシングの過去、現在を振り返りながら、日本のリモートセンシングの将来について語っていただきます。

The role of remote sensing, played in the past and now, is summarized and clarifies the problems, which we will face in the near future (2030 ~ 2050). Based on this information, the future of the remote sensing in Japan will be discussed.

主 催：東北大学 21世紀COEプログラム
『先端地球科学技術による地球の未来像創出』
お問い合わせ：21世紀COE地球科学事務室
水田 奈緒子 まで
〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉
東北大学大学院理学研究科物理 A 棟 605 号
TEL: 022(795)6757
E-mail: mizuta@zisin.geophys.tohoku.ac.jp